

「意識するということ」



かまだ きよこ
【鎌田基予子委員】

今年度の教育委員会訪問で岩邑中学校を訪れた際のことです。休み時間を利用し、2年生、3年生から合唱のプレゼントがありました。

岩邑中学校の生徒たちの澄んだ歌声、お互いのパートを支え合う心の通った合唱に、とても心を揺さぶられ、感動いたしました。

その場で感想を求められ、「みなさんには今のみなさんにしか出せない歌声、作り出せない合唱があるんです。そのことをおそらくみなさんは意識していないでしょうが、みなさんの歌声が聴き手の私たちをととても感動させてくれるんです。」そんな言葉を掛けさせていただきました。

訪問日程の最後、岩中の先生方との全体会の場で、学校教育課主幹、工藤先生が先の私の発言を受けて、「無意識を意識させる」という指導について話をして下さいました。「なるほど…」と私は思いました。自らの経験の中で、意識をしてまわりを見た時に、見える世界がまるで変わってきたことを思い出したからです。一番分かりやすい例は、自分が妊婦になった時、行く先々で妊婦さんに遭遇し、世の中に何と妊婦の多いことかと、驚いたことです。

「問題意識を持って取り組みなさい」子どもの頃に学校の先生によく言われていたのを思い出しました。意識するということを実感できた今なら、その意味がよく分かるのですが…。

第2回総合教育会議を開催しました

(教育総務課)

平成31年1月30日に第2回恵那市総合教育会議が開催されました。

今回の会議では、教職員及び保育教諭の確保、市長と中学生との交流について市長と教育委員の意見交換が行われました。

教職員等の確保については、資料に基づき学校教員と保育教諭の現状を事務局から説明しました。教育委員から新規採用は市内在住の方なのかなどの質問がありました。

また、市長と中学生との交流については、今年度市長が明智中学校を訪問した事例を紹介しました。市長が市の施策について生徒に説明を行い、生徒からは観光フォトスポットの設置など提案がありました。首長と交流することで、人口減少や郷土愛に一層関心をもってけると良いと考えています。



【明智中学校の生徒に説明する市長】

おさしま二葉こども園が完成しました！

(幼児教育課)



【こども園の外観】



【木をふんだんに使用した園児室】

平成29年6月から工事を進めていた市立おさしま二葉こども園が完成しました。

このこども園は、恵那市のこども園の中核施設として位置づけ、ニーズの高い3歳未満児保育の充実など安心して子どもを育てられるための環境づくりや、子ども・子育て支援の拠点とすることを目的に建設しました。施設は岐阜県産材を多く使用し、木のぬくもりを感じてもらえるよう木造にしました。

園児たちが安全で快適に過ごし、元気いっぱいに活動ができるこども園になりました。

【施設概要】

名 称: 恵那市立おさしま二葉こども園

所在地: 恵那市長島町永田 441 番地 1

定 員: 240 名

建 物: 木造平屋建て(一部 2 階)

建築面積: 2,609.93 m²

【建築事業費】

1,285,381 千円

岩村城の保存整備を行っています

(生涯学習課)

岩村城(岐阜県指定史跡)は、鎌倉初期の源頼朝の重臣であった加藤景廉、景朝が築いたと伝わりますが、根拠となる史料はありません。戦国時代には織田、武田の争奪戦が繰り広げられ、江戸時代に入ると譜代大名の松平氏が本格的な城郭整備を行って現在の立派な石垣を備えた山城になりました。

恵那市では、現在岩村城の保存整備基本構想を策定し、城郭や石垣等の保存に向けた取り組みを進めています。

今年度は、城郭の保存と眺望確保のため、周囲の市有林を部分的に伐採しました。これにより、城下町や国道257号からも本丸石垣の一部を見ることができるようになりました。

今後は、将来的に国史跡の指定を目指す上で必要となる岩村城の計画的な調査と保存整備、森林整備を行い、観光資源として活用し、市民や観光客の目に魅力的に映る岩村城にしていきたいと考えています。



【本丸から城下町が見えるようになりました】